

特集

「災害と社会福祉士」

社会福祉士がどのような災害支援を行っているかご存知ですか？
平時には発災時に備えて災害支援活動の研修を開催、
災害発生後には地域の実情に応じた様々な支援をしています。
今回はそんな「災害と社会福祉士」のことを紹介します。

社会福祉士は
災害のとき
何をやるの？

介護のこと、
お金のこと、
医療のこと、
どこに相談したら
良いの？

避難所で
困ったとき
誰に相談すれば
良いかしら？

仮設住宅で
住人の方々と
仲良くできるかしら？



災害時、社会福祉士は こんなことをしますよ！

 社会福祉士Aさんの
東日本大震災での活動経験

東日本大震災で特に甚大な被害を受けた岩手県陸前高田市。私はそこで社会福祉士として、災害支援の活動をした経験があります。

災害時に社会福祉士が行う主な活動内容は以下のようなものが挙げられます。

- ① 高齢者の方、障害のある方等の生活状況の確認
- ② 避難所や仮設住宅等で生活している住民の生活に関する困りごとや課題の聞き取り、担当部署への連絡
- ③ 仮設住居で閉じこもらずに、住人同士で声かけあう雰囲気づくりのための活動等

現地での活動は、①②を中心に行いました。秋田県の社会福祉士の方とペアで仮設住宅を1件、1件訪問し、生活状況や生活に関する困りごとを聞き取りました。

また複数の困りごとがある方には、陸前高田市の地域包括支援センターの職員の方と話し合い、どのような支援が必要かを検討しました。

私は主に障害分野で働いていますが、この活動では『人々の暮らしにくさ』に視点をもって対応するため、自分の働く分野に関係なく行動したのを覚えています。

「災害支援活動者」の 養成研修を行っています

社会福祉士会は、災害時に支援活動を行う福祉の専門家の養成を行っています。
「現地を主役にした支援」を大前提に、
日本全国の社会福祉士会が
協力しあい、息の長い支援を行うべく
福祉職はもちろん弁護士・
医療従事者など、災害時に連携していく
多職種講師からも学びます。

1995年1月17日、兵庫県は未曾有の災害にみまわれました。阪神・淡路大震災。わたしたち兵庫県社会福祉士会も、福祉職として支援活動に携わった経験を持つています。

発災のこの年は「ボランティア元年」とも言われ、被災地でのボランティア活動の重要性が飛躍的に、広く認識されるようになった年でもあります。

その後、東日本大震災、丹波市豪雨災害、熊本地震、西日本豪雨災害などの災害が起こりました。当会では、災害支援委員会を創設し、災害支援活動者を育成するなど災害対応整備に取り組むとともに、日本社会福祉士会と連携し、相談援助の専門職として被災地支援を行っています。